

国際教養コースのカリキュラムに大きな魅力を感じた

A. S.

明治大学 法学部 法律学科 進学
水戸市立 第一中学校 卒業

国際教養コースのカリキュラムは、英語の科目や学校設定科目が充実しているため、語学力はもちろんのことグローバル人材として活躍するためのマインドセットを同時に備える事ができます。特に、哲学の授業で当たり前を問いただしたり、アカデミックスキルズでクラスメイトと議論したりすることで、物事を複眼的かつ批判的に考える力がついたと実感しています。英語に関してはクラス内のモチベーションが高いため、レベルの高い環境で学ぶことができます。互いに切磋琢磨しあいながら学習することで、目標を達成することができました。英検やIELTS対策は、自分で目標を持ち継続的に学習することが一番大切ですが、ライティングやスピーキングなど先生たちが熱心に対策をしてくださるので試験の準備を入念に行うことができます。

3年間で最も思い出に残っているのは、2年生でのカナダ留学です。半年間のカナダ留学では、自立心そして国際感覚を養えました。茨高の留学プログラムは、1人1校、配属されるので誰も知り合いのいない状態で始まります。そのため、嫌でも英語を使って自分の力で行動していかなければなりません。時に大きな孤独を感じることもありましたが、新しい環境に適応しようと試行錯誤することで、精神的に大きく成長することができました。現地の高校では、世界各国からの留学生が来ているので世界中の人たちと友達になることができました。異なった背景を持つ多様な人々と関わることで、新たな価値観や考え方に触れられ、今まですごく遠くに感じていた世界が一気に身近なものになりました。

私が茨高を選んだのは、国際教養コースのカリキュラムに大きな魅力を感じたからです。1年生の頃からネイティブスピーカーとの授業が多くあるなど、授業を通して留学の準備をすることができます。このコースは、1年生から一貫生と高入生との混合クラスですが心配は入りません。国際的視点をもった積極的な人たちが多いためすぐに打ち解けられます。また、3年間クラス替えがなく、留学という大きな挑戦を一緒にするため、かけがえのない友人に出会うことができます。

大学では、高校時代から関心の強かった人権について専門的に学びたいと考えています。このコースで培ったグローバルな視野をさらに広げられるように、大学でも色々なことに挑戦して行きたいです。将来は、弁護士となって社会的に弱い立場に属する人たちを助けられる人になりたいです。